



富山県

No.96 2020年7月

中央植物園だより



第22回私の植物写真展 富山県中央植物園長賞作品「陽光を浴びて」 撮影 / 村川 幸枝さん

トリフォーリウム・ルーベンス (マメ科)

ヨーロッパ中部のアルプスやピレネー山脈に分布する多年草です。シロツメクサの仲間、6月から7月ごろに紅色の花を穂のようにつけます。

夏休み子ども企画のご案内

富山県中央植物園では毎年夏休み子ども企画として、「オオオニバスに乗ってみよう」と「森のクラフト」を開催しています。

「森のクラフト」ではマツボックリやドングリなど様々な植物を使って自由に工作できます。7月23日(木・祝)～8月31日(月)まで開催します。

「オオオニバスに乗ってみよう」は南米原産の巨大なパラグアイオニバスの生の葉に乗る体験ができます。対象は体重30kg以下のお子さんです。今年は8月8日(土)～10日(月・祝)に開催予定で午前、午後各先着100名の定員です。子供の時にしかできない貴重な体験をどうぞ。



「オオオニバスに乗ってみよう」

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

7月から9月の園内の見頃の植物

7～9月の温室の見頃の植物

- ・ヘリコニア・カリバエア *Heliconia caribaea* Lam. オウムバナ科 (熱帯雨林植物室)

カリブ海の島々の熱帯林に生育する巨大な草です。燃え盛る炎のような大きな赤い花序はいかにも熱帯のイメージです。ヘリコニアはオウムのくちばしのような形の赤い苞が連なって花序を作り、花はその苞の中にあります。ハチドリなどの鳥によって花粉が運ばれるそうです。



ヘリコニア・カリバエア

- ・パンノキ *Artocarpus altilis* (Parkinson ex F.A.Zorn) Fosberg クワ科 (熱帯果樹室)

パンノキはインドからマレーシア地域に分布するクワ科の常緑高木で、熟した果実は子供の頭ほどになります。パンノキの名前は英名のブレッド・フルーツ・ツリーを訳したもので、オセアニアの広い地域で主食とされていることにちなみます。種ができる二倍体の品種群と種が無い三倍体の品種群があり、種無し品種の果実は多量のでんぷんを含み、蒸し焼きにすると、芋のような味がするそうです。



パンノキ

- ・キレンゲショウマ *Kirengeshoma palmata* Yatabe アジサイ科 (高山・絶滅危惧植物室)

紀伊半島から四国山地、九州山地にまれに分布します。四国剣山のキレンゲショウマは宮尾登美子の「天涯の花」で有名です。黄色いラッパ状の花を下向きにつけます。



キレンゲショウマ

7～9月の屋外の見頃の植物

- ・ハス *Nelumbo nucifera* Gaertn. ハス科 (ハス池)

東南アジア原産のハス科の多年草で、観賞用や食用として古くから栽培されています。花は7月中旬から咲きますが、花が開く時間は早朝で、午前8時から9時ごろには閉じ始めます。



ハス

- ・パラグアイオニバス *Victoria cruziana* Orb. スイレン科 (北池)

南米の湿地に生育する世界最大のスイレンの仲間です。植物園では毎年北池に50株を展示し、直径1m以上の葉が並ぶ様子は壮観です。

- ・秋の七草 (低地草原)

秋の七草の由来は、万葉集で山上憶良が詠んだ「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七草の花。萩の花、雄花、葛花、撫子の花、女郎花また藤袴、朝貌の花」という歌です。日本の植物ゾーンの低地草原では、7月半ばからカワラナデシコ、キキョウが咲き、8月後半からオミナエシやミヤギノハギ、クズが咲いていきます。



オミナエシ

- ・パンパスグラス *Cortaderia selloana* (J.A.et J.H.Schult.) Asch. et Graebn. イネ科

(芝生広場) 南アメリカのブラジルやアルゼンチンに広がる草原 (パンパ) に生育する大型の草です。ススキに近い仲間で、白く輝くような穂の様子からシロガネヨシの名前もあります。大きくなり、また成長も早いので、植物園向きの植物です。穂は切り花やドライフラワーにも使われます。



パンパスグラス



ミヤギノハギ



パラグアイオニバス

トピックス 植物園での新型コロナウイルスへの対応について

植物園では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月初めより入園者への注意喚起、入園口とサンライトホールでのアルコールの設置、講習会などでの参加人数の制限などを行いました。4月のさくらまつりではサンライトホールで行うコンサートや桜ガイドなどを中止しました。

4月17日に緊急事態宣言が発令されて以降、5月19日まで展示温室とサンライトホールの屋内施設を閉鎖し、屋外展示園のみで開園しました。屋内閉鎖により、企画展や講習会は中止または延期となっています。5月14日の緊急事態宣言の解除を受け、5月20日より屋内施設を含めて全面開園しています。

また6月からイベントを少しずつ再開しています。今後のイベントについては最終ページをご覧ください。



入園口に注意喚起の看板を設置



サンライトホールは換気のため窓を全開



さくらまつり時の園内の様子

植物園裏話

◎『記録写真は使えない—植物園イメージポスター』

園長 中田政司

富山県中央植物園では、2012年からイメージポスターを作製して広報に使用しています。サイズはA2で、植物の多様性と植物園の植栽植物を紹介するという趣旨から、毎年違うテーマで縦5×横4＝20個のマス目に花や果実、ときには葉の写真を配置しています。

第1回目は当園のユニークなコレクションとして中国雲南省から導入した植物を、以下2013年はラン温室の世界のラン、2014年は熱帯果樹室のトロピカルフルーツ、2015年は生息域外保全を行なっている絶滅危惧植物、2016年は熱帯雨林植物室の熱帯観賞植物、2017年は第68回全国植樹祭にちなんで屋外に植栽されている富山県の樹木、2018年は「北米東部の植物エリア」から東アジアと北米東部に隔離分布する共通種群、昨年2019年は食虫植物、そして今年2020年はクレマチスの原種と園芸品種をテーマとしました。

ポスター作製で一番苦労するのが写真の選択。ピントが合っていることと画像データが大きい(解像度が高い)ことは最低条件ですが、正方形にトリミングできるように正面から捉えていること、多彩な色、バックがうるさくなくコントラストが良い事など、条件に合うように最初から撮影すれば良いのですが、日頃から記録用に撮影している撮り貯めた写真では役に立たない事が多く、結局撮り直すことが多くなります。昨年の食虫植物は捕虫葉が縦長のものが多くなり、縦2マスを使った構図で最初からポスター用に撮影したものでした。

掲示していただくため全国の植物園や県内の関係機関に送付していますが、残部がある場合、希望される入園者の方にも無料で配布しています。



2020年度植物園イメージポスター。テーマはクレマチス園で見られる原種・園芸品種。

話題の植物

斑入りバナナ初結実

熱帯果樹室では、葉や実にも白い斑が入る珍しい斑入りバナナが5月に初めて結実しました。2008年に導入しましたが、斑の部分に葉緑素がないため、冬場の日照時間が短い北陸では台湾バナナなどに比べると成長が遅れるなど栽培が少し困難でした。しかし、3年ほど前から土壌改良や肥料等を変えることでようやく今年結実にいたりしました。



困難に打ち勝つ花キンレンカ展示

入園口から展示温室へ至る通路に5月下旬から8種類、90鉢のキンレンカを展示しました。キンレンカは丸い葉が盾に、花が兜の形に似ていて戦士を連想させることから「困難に打ち勝つ」や「勝利」という花言葉があります。新型コロナウイルスの克服に向け気持ちを前向きにできればとの願いを込めて展示したところ、マスコミにも多く取り上げていただきました。



催し物のご案内

■企画展示

会場：サンライトホール
入園料が必要です。

夏のラン展

7月11日(土)～7月12日(日)

水辺の妖精「姫スイレン展」

7月17日(金)～8月5日(水)

私の植物画展

7月23日(木・祝)～8月31日(月)
5月開催予定を延期しました。

特別展「お米展～イネとたんぼと人の営み～」

9月11日(金)～10月21日(水)

第53回富山県おもと展

10月23日(金)～10月25日(日)

■特別開園

夜間開園ゲッカビジン観賞

7月下旬までの開花日2日間
19:00～21:30
夜間開園入園料／250円

早朝開園ハスの花の観賞会

8月1日(土)、2日(日)
6:00～

夜間開園熱帯植物探検

8月21日(金)、22日(土)
18:30～21:00
夜間開園入園料／250円

■夏休み子ども企画 森のクラフト

7月23日(木・祝)～8月31日(月)
会場：サンライトホール(入園料が必要です)

オオオニバスに乗ってみよう

8月8日(土)～10日(月・祝)
各日とも午前9:30～、午後13:30～
各回先着100名
会場：北池(入園料が必要です)

■講座・講習会

植物画講習会 ◆要申込

8月29日(土)・30日(日)
10:00～16:00(2日間連続)
定員：20名
講師：豊田路子さん(植物画家)

特別展オープニング解説

9月11日(金) 13:30～14:30
会場：サンライトホール(入園料が必要です)

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

－ボランティアと歩く植物園－
第1,2,4日曜日 13:30～14:00
集合場所／サンライトホール

－園長と歩く植物園－

第3日曜日 13:30～14:00
集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

9月5日(土)、10月3日(土)
14:00～15:00
シンセサイザー演奏：滝沢卓

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール(botanic@bgty.org)で受け付けます。

※ 新型コロナウイルスの状況によって開催内容を変更する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休日

毎週木曜日
(4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料

大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料(12月～2月)

大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート(購入日より1年間有効)2,100円

交通案内

JR富山駅から富山地铁バス「ファボーレ經由萩の島循環」、または「ファボーレ經由速星行き(休日のみ)」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分